

感染症発生状況

平成 29 年 4 月 14 日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長 様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

平成29年4月3日（月）～4月7日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象人数（定員）は2,565名です。

この週の延べ欠席者数 338名

1日あたりの延べ欠席者数 67名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数 54名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

症状では 熱（111名）、嘔吐（28名）、体調不良（23名）、咳（22名）

疾病ごと インフルエンザ（89名）、おたふくかぜ（17名）、溶連菌感染症（9名）、
流行性角結膜炎（4名）

インフルエンザの再度の流行、おたふくかぜ、流行性角結膜炎が目につきます。
なかなか暖かくならず、気温についていけないようです。
また、花粉症の人も多いようです。

【症状別の発生状況】

インフルエンザ	玉山地域で増加しました。
おたふくかぜ	厨川地域で新たに発生。都南地域で減少しました。
溶連菌感染症	河北，都南地域で減少。厨川，盛南，河南地域で微増しました。
流行性角結膜炎	都南地域で新たに発生しました。

【県の状況（3/27～4/2）】

インフルエンザは、前週より減少しましたが、二戸，大船渡，県央，久慈地区では注意報値（定点あたり患者数10人）を超えており、引き続き注意が必要です。咳エチケットや帰宅後の手洗い，体調管理による予防が重要です。

咽頭結膜熱は、前週に続き、中部地区で警報値（同3人）を超えました。発熱，咽頭炎，結膜炎を主症状とするウイルス感染症です。患者との濃厚接触やタオルの共用を避け，石けんと流水による手洗いを行うことが重要です。

流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）は、中部地区で注意報値（同3人）を超えました。耳下腺の腫れや発熱を主症状とするウイルス感染症であり，髄膜炎等の合併症を引き起こす場合もあります。ワクチン接種による予防が効果的です。

新学期が始まり，学校等で集団生活が再開されると，感染症が流行する可能性が高まります。手洗いをはじめとした基本的な予防対策の再確認が重要です。

【 盛岡市医師会（感染症対策委員会） 】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会
電話 625-5311 ファックス 651-9822

【 担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424 】